

令和4年度文化財総合把握調査（案）

1.目的

『日田市文化財保存活用地域計画』では、日田市内の国や県、市の指定文化財などや登録文化財のほかに、地域に存在している未指定文化財はもちろんのこと、現時点では把握されていない未把握の文化財等もあわせて、総合的に取り扱うこととなります。

このため、『日田市文化財保存活用地域計画』の作成にあたっては、市内に存在する多種多様な文化財を調査・確認する必要があります。

2.調査等

市内に残る様々な文化財等を把握するための調査は、市職員を中心に下記のとおり実施します。

▼地区公民館や文化財保護員等の協力を得て、地域に残る文化財の把握、新たに把握された文化財の概要調査

*アンケート・住民からの聞き取り・フィールドワーク

▼市民が参加するワークショップの開催

*市内のそれぞれの地域に残る歴史文化の特徴から、3地域を選出し、その地域に在る地区公民館を単位とし開催します。

*ワークショップには、その地域の住民のほか、文化財保護員や、大学生、高校生にも参加してもらいます。

*ワークショップでは、地域において所在する文化財や、それらを取り巻く環境等を巡検し、必要に応じて学習会を開催するとともに、地域の文化財を生かし、守り伝えていく方法などについて話し合い、そこから生み出される意見をまとめ、「文化財保存活用地域計画」を作成していく際の参考とします。

*ワークショップで生み出される“考え”や“思い”などは、公民館活動のほか、文化財保護員の今後の活動や、学生らの今後の研究等に生かしていただくなど、地域の文化財を守り、未来へ繋いでいく切っ掛けとなることを期待します。